



## 交通安全教室

5月1日(木)に、香芝警察署交通課の方をお招きし、交通安全教室を開きました。3時間目には1年生から3年生、4時間目には4年生から6年生が多目的教室に集まり、学年の発達段階に応じた内容で、お話を聞かせていただきました。信号機のこと、道路の安全な歩行の仕方、自転車に乗る際の留意点、かけがえのない命を守るための交通ルールについて、子どもたちは真剣な様子で話に聞き入り、また一生懸命に問いかけに答えていました。

警察官の方からいただいた「交通ルールや交通マナーは、知っているだけでなく、行動にうつすことが大切です。」という言葉を大切にしながら、安全な毎日を送ってほしいと思います。



## 新しい職員の紹介

前号でお伝えしていた「図画工作」「家庭科」「外国語」の担当教員が着任いたしましたので、紹介させていただきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

図画工作  
中川 薫



家庭科  
森岡 容子



外国語  
平岡 嘉伸



## 気持ちのいい挨拶、増えてきました！ ～児童のみなさんへの話～



全校児童のみなさん、おはようございます。今朝、登校してきてから、みなさんは挨拶がしっかりできましたか？毎朝、正門や西門で立っていて、日に日に、みなさんの挨拶の声が素晴らしいものになってきたなど、校長先生は感じています。

さて、みなさんは、この写真の人を知っていますか？（写真を示して・・・）アメリカのメジャーリーグで大活躍しているプロ野球選手、大谷翔平選手です。今日は、その大谷選手が高校1年生だったときの話を紹介します。

みなさんが、1年間の目標をたてたように、大谷選手も高校1年生のころ、「高校を卒業するときには、プロ野球の8球団から1位で指名されたい。」という目標を立てたそうです。高校生にとっては、とても大きな夢です。しかし、大谷選手はこの目標を、夢で終わらせないために、小さな目標をいくつか立てたそうです。たとえば、ボールのコントロール、たとえば、ボールのスピードなど、そして、そのためには、肩の筋肉を鍛えるというように、細かく目標を立てたそうです。

大谷選手は、その中に、「運」ということばも目標として入れました。確かに、いくらすごい選手になっても、運が悪ければ試合に出られないこともあるかも知れませんね。では、その運をよくするにはどうすればいいのか、大谷選手は、「まわりの人が笑顔になることをすれば、自分の運もよくなる。」と考えました。みなさんは、どうすれば、まわりの人を笑顔にすることができると思いますか。

大谷選手は、さらにこう考えました。「あいさつをすることで、まわりの人を笑顔にすることができる。」校長先生も、同じ考えです。校長先生は、朝、みなさんと挨拶をしています。みなさんから挨拶を返してもらったとき、笑顔と元気をもらっています。始業式のころと比べると、みなさんの挨拶のレベルはどんどんアップしています。ただ、大きな声で挨拶するのは、まだちょっと恥ずかしいという人もいますようです。最初は、目を合わせて、ペコッと頭を下げるだけでも、それで気持ちはちゃんと伝わっているから大丈夫ですよ。

まずは、自分ができるところから頑張って、まわりの人が笑顔になれる挨拶をしてほしいと思います。